

実際にお届けになる日をご記入ください。

記入例

婚姻届

令和 年 月 日届出

東京都江東区長 殿

受理	令和 年 月 日	発送	令和 年 月 日
第 号	この部分には何も記入しないでください。		
送付	令和 年 月 日	長印	
第 号			
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票 附票 住民票 通知

消せるボールペンで記入しないでください。

証人についてのご注意  
 ○必ず成人の方2名必要です。  
 ○必ず、ご本人に署名をもらってください。  
 ○ご夫婦でも別々の印鑑を押印してください。

証人	
署名	江東 一郎 (江東印) 墨田 二郎 (墨田印)
生年月日	昭和30年 3月 3日 昭和29年 5月 5日
住所	東京都江東区東陽 東京都墨田区吾妻橋
本籍	東京都江東区東陽 東京都墨田区吾妻橋

(1) 氏名	夫になる人 江東 太郎	妻になる人 墨田 花子
生年月日	昭和61年 1月 1日	平成2年 2月 2日
(2) 住所	東京都江東区東陽 4丁目11番地28-101号	東京都墨田区吾妻橋 1丁目23番地20-202号
本籍	東京都江東区東陽 4丁目11番地	東京都墨田区吾妻橋 1丁目23番地
(3) 父母の氏名	父 江東 一郎 続き柄 母 春子 長男	父 墨田 二郎 続き柄 母 夏子 二女
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	新本籍(左の□の氏の方がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 東京都江東区東陽4丁目11番地	
(5) 同居を始めたとき	令和元年 年 5月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたとときのうち早いほうを書いてください)	
(6) 初婚・再婚の別	夫 初婚 再婚 死別 離別 年 月 日 妻 初婚 再婚 死別 離別 年 月 日	
(7) 同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯の主な仕事	夫 妻 1. 農業だけまたは農業その他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用労働者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあってはまらない常用労働者世帯及び会社団体の役員世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあってはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(8) 夫妻の職業	夫の職業 03	妻の職業 02
その他		
届出人	夫 江東 太郎 (江東印)	妻 墨田 花子 (墨田印)
署名押印		
事件簿番号		

婚姻届の提出時に、住民登録しているところをご記入ください。

※転入・転居・世帯主変更届もあわせてお届けになる場合は、お届け後の新住所、新世帯主をご記入ください。  
 ※転入・転居・世帯主変更等には、婚姻届とは別に住民異動の届出が必要になります。

実父母の氏名をご記入ください。

※お亡くなりになっていてもご記入ください。  
 ※養子縁組されている場合は、その他欄へ養父母の氏名・続柄をご記入ください。  
 ~その他欄 記入例~  
 夫の 養父 ○○ ○○ 続柄 養子  
 養母 ○○ △△

選択した氏の方が現在「筆頭者」ではない場合は、新しい戸籍が編製されますので、新本籍の場所を決めてご記入ください。

※選択した氏の方が、(3)の本籍で筆頭者になっている場合は、(4)の新本籍欄を記入しないでください。その方の本籍表示に変更はなく、その戸籍に配偶者の方が記載されます。

令和2年度は国勢調査の年度ですので、ご協力をお願いします。番号または職業名をご記入ください。(別紙の職業例示表をご参照ください)

◎署名・押印は必ずご本人が自署・押印してください。  
 ◎届出人の印をご持参ください。

本届書中字加入字消除字訂正

夫	妻
免・バ・住	免・バ・住
保険証	保険証
この部分には何も記入しないでください。	
通知有	通知有
不受理申出有・無	不受理申出有・無

ご自宅・お勤め先・携帯等の屋間連絡のとれる電話番号をご記入ください。携帯の場合は、どなたの携帯かも明示してください。

住所を定めた年月日	連絡先
夫 年 月 日	(夫) (090) 0000 - 0000
妻 年 月 日	(妻) (080) 0000 - 0000
この部分には何も記入しないでください。	先 自宅・勤務先 [ 携帯 ]
	屋間連絡のとれる番号をご記入ください。